

栃木県人会紹介 ニューヨーク栃木県人会

現地名 New York TOCHIGI Kenjinkai
設立年月日 2010年1月29日
所在地 ニューヨーク州 ニューヨーク市
会長 進藤 尚子
会員数 約40人(2015年4月末現在)

皆さん、こんにちは。ニューヨークの長い冬が過ぎ、待ちに待った春が到来、水仙やレンギョウの花が咲きはじめました。アメリカで主流の八重桜は開花がやや遅れ毎年5月過ぎになります。日本人、日系人の多いニューヨークのコミュニティーではこの季節にたくさんの街で“Cherry Blossom Festival”が開催されます。

毎年参加する「White Plains さくら祭り」は、足利市出身のバチスタ・陽子さんが住み慣れた街、ホワイトプレインズの人たちに感謝の念と日本文化の紹介を! と発案し、今年で16回になります。県人会のブースでは栃木県を紹介するポスターやパンフレットを展示し、苺にちなんだお菓子や綿菓子を販売します。また、東日本大震災の翌年からは書道や折り紙の体験を呼びかけ、売上げや寄付金を震災復興のために募金させていただいております。

故郷を想う気持ちは深いが控えめな県民性ゆえ賛同いただけるか不安でしたが、2010年1月のニューヨーク栃木県人会の初顔合わせで、27人の栃木県出身・ゆかりのある方たちが集まりました。会社経営者、芸術家、国連職員、日系企業の駐在の方などが、栃木なまりも入りながら楽しく交流をいたしております。故郷を離れ、夢を抱いて移住したニューヨークでご縁があり出会った同郷の仲間たち、在米1年目から50余年までそれぞれの人生経験のお話は大変興味深いです。

これからもこの土地で故郷に想いを馳せながら栃木県のPR活動をしていきます。各国の栃木にゆかりのあるかた、栃木県内の訪米団の皆さま ニューヨークを訪れる際にはぜひご連絡ください。



▲2010年1月、第1回ニューヨーク栃木県人会。宇都宮市出身の七原 肇さん(前列中央)の音頭により初顔合わせが実現。



▲「White Plains さくら祭り」。前列赤いハッピーがバチスタ・陽子さん。毎年植樹している桜の木は延べ100本になります。



▲2011年5月、ニューヨーク市内のグランドセントラル駅前で東北、北関東の県人会が集まり「Japan Block Fair」を開催しました。栃木県は益子焼はじめ民芸品を販売し、売り上げをとちまる募金と益子町復興基金へ寄付させていただきました。今年で4年目となった3.11追悼式典「TOGETHER FOR 3.11」では後援団体としてお手伝いさせていただきます。



▲栃木市出身の柔道家・椎名清さん(前列中央)主催「椎名道場お箸の会」で、手作り餃子や金平ごぼうなどの懐かしい和食を囲みます。椎名さんは大学卒業後 ニューヨークに渡り全米選手権者、オリンピック選手をも育成された在米55年の師範です。おなが一杯になった子供達は道場を駆け回り、時には椎名師範から技の指導もあつたりします。